様式第１号（交付要綱第６条関係）

令和　　年　　月　　日

北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議会長　殿

*（申請者の住所）*

*（商号又は名称）*

*（代表者役職氏名）*

CASE等関連技術開発支援補助金実施計画書

CASE等関連技術開発支援補助金交付要綱第６条の規定に基づき、CASE等関連技術開発支援補助金に係る補助事業実施計画書を別紙のとおり提出します。

別紙（様式第１号　交付要綱第６条関係）

CASE等関連技術開発支援補助金実施計画書

○事業名又はテーマ名

|  |
| --- |
|  |

○事業概略

|  |
| --- |
|  |

○事業期間

|  |
| --- |
| 交付決定日　～　　令和　　年　　月　　日 |

○実施事業者

|  |
| --- |
| 企業名：代表者役職氏名：住所： |
| 担当者氏名：　　　　　　　　　　　　　（所属：　　　　　　　　）Tel:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail: |
| 経理担当者氏名：Tel:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail: |

１　事業の概要書（２　詳細資料の要約内容です。A4×1枚で記入してください。）

|  |
| --- |
| (1)背景・社会的課題や、今後それらに対応して必要とされるシステム、自動車関連産業の動向について記載してください。 |
| (2)現状や従来製品・技術の課題 |
| (3)事業や製品開発の概要 |
| (4)事業や製品開発の目標仕様・事業や技術開発における機能や仕様について、数値等を用いて具体的に記載してください。 |
| (5)事業や開発を進めるうえでの技術的課題と解決方法・事業や技術開発の課題と解決策について記載してください。 |
| (6)活用する自社保有技術・事業や技術開発を実施するための自社保有技術（強みやコア技術）を簡潔に記載してください。 |
| (7)(8)事業・開発項目及び事業・製品開発計画・事業・技術開発項目を箇条書きで記載し、そのスケジュールについて簡潔に記載してください。 |
| (9)事業化・本事業完了後の事業・販売計画等について、簡潔に記載してください。 |
| (10)波及効果・地域振興や、社会への影響・効果などを記載してください。 |

２ 詳細資料

(1)背景

|  |
| --- |
| ・現在の社会的な課題や今後それらに対応して社会的に必要とされるシステム・自動車関連産業の現状と今後の展望 |

(2)現状や従来製品・技術の課題

|  |
| --- |
| ・競合製品等に用いられている従来技術・製品とその課題について記載してください。 |

(3)事業や製品開発の概要

|  |
| --- |
| ・事業や開発する技術の特徴等に交えて記載してください・図を用いる等、わかりやすい記載となるよう工夫し、専門用語の使用は極力避けて記載してください。 |

(4)事業や製品開発の目標仕様

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ・事業や技術開発の機能や仕様について極力数値化して、以下の表を用いて記載してください。また従来製品に対する優位性について補足があれば、表の下に箇条書きで記載してください。【比較表】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 製品名等／仕様項目 | 提案内容 | 現状・従来製品１ | 従来製品２ |
| ①○○機能 |  |  |  |
| ②○○精度 |  |  |  |
| ③○○時間 |  |  |  |

【優位性】・開発製品の優位性を明確に記載してください。①○○機能：②○○精度：③○○時間： |

(5)事業や開発を進める上での技術的課題と解決方法

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ・「(4)事業や技術開発の目標仕様」記載の「仕様項目」記した番号に関連付けて、事業や技術開発の課題と、解決する方法について具体的に表に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 仕様 | 課題 | 解決方法 |
| ①○○機能 | *①○○○* |  |
| ②○○精度 | *②○○○○* |  |
| ③○○時間 | *③○○○○○* |  |

 |

(6)活用する自社保有技術

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ・「(5)事業や開発を進めるうえでの技術的課題と解決方法」記載の課題に記した番号に関連付けて、技術を開発するために活用される保有技術や基礎技術をについて具体的に表に記載してください。・開発実施例、製品例などを記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 課題番号 | 活用する保有技術 |
| ① | ○○○ |
| ② | ○○○○ |
| ③ | ○○○○○ |

 |

(7)事業・開発項目

|  |
| --- |
| ・「(5)事業や開発を進めるうえでの技術的課題と解決方法」記載の「課題」に記した番号に関連付けて、事業・技術開発のための実施内容について具体的に記載してください。・図を用いる等、わかりやすい記載となるよう工夫し、専門用語の使用は極力避けて記載してください。①○○○の開発②○○○の開発③〇〇〇の開発 |

(8)事業・製品開発計画

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ・事業期間における実施体制や技術開発スケジュールについて図表などを用いて簡潔・明瞭に記載してください。【実施体制について】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名 | 所属・役職・氏名 | 事業・開発項目 |
|  |  |  |
|  |  |
|  |  |

・表中の「事業の実施項目」欄は「⑤事業の実施項目」の記載事項と一致させてください。【事業・技術開発スケジュール（概略）】

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・開発項目 | 内容 |
| ①○○○の開発 |  |
| ② |  |
| ③ |  |

【事業・製品開発スケジュール（詳細）】

|  |  |
| --- | --- |
| 事業・開発項目 | 令和６年度 |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
| ①○○○の開発 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ② |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

・実施体制、事業・技術開発スケジュールともに、「(7)事業・開発項目」と一致させてください。【実施体制図】・矢印等を用い事業の実施体制や役割分担の概要がわかるように具体的に記載してください。 |

(9)事業化

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ・本事業終了後の販売計画等について、体制やスケジュールなどを、図表を用いて具体的に記載してください。また事業終了後から5年目までの技術製品の売上についても記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開発製品販売（提供）予定価格 |  |
| 購入が予想される企業及び用途（具体的に記載） |
|  |

・スケジュール・5年目まで記載してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 事業終了後1年目 | 終了後2年目 | 終了後3年目 | 終了後4年目 | 終了後5年目 |
| 個数 |  |  |  |  |  |
| 売上 |  |  |  |  |  |

 |

(10)波及効果

|  |
| --- |
| ・地域振興への貢献、社会への影響や効果などを記載してください。 |

３ その他公募事業等について（A4×1枚で記入してください）

|  |
| --- |
| 国提案公募事業などへの展開について・当事業終了後、国等への提案公募事業への展開を想定している場合は、簡潔・明瞭にしてください。 |
| 他の公募事業への申請状況・本提案と類似内容を他の公募事業への重複提案している場合は、その内容を具体的に記載してください。 |

４ 事業費等について

事業費等総括表

（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経費内訳 | 補助対象経費 | 補助事業に要する経費 |
| 計 | 補助希望額 | 自己負担額 |
| １　機械装置費 |  |  |  |  |
| ２　材料・消耗品費 |  |  |  |  |
| ３　外注・委託費 |  |  |  |  |
| ４　旅費 |  |  |  |  |
| ５　人件費 |  |  |  |  |
| ６　外部講師受入費 |  |  |  |  |
| ７　その他経費 |  |  |  |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |

※補助率は１／２以内です。

実施計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業・開発項目および細目 | 第１四半期 | 第２四半期 | 第３四半期 | 第４四半期 |
| ○○○の作製・仕様調整 |  |  |  |  |
| 執行予定額 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 執行予定額 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 執行予定額 |  |  |  |  |  |
| 執行予定額計 |  |  |  |  |  |

５ 提案者の概要書

(1)企業　概要書

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 |  |
| 代表者名 |  |
| 本社所在地 | 〒TEL：　　　　（　　　）　　　　　　　　FAX：　　　　（　　　）　　 |
| 担当者所属部署 |  |
| 連絡先 | 〒TEL：　　　　（　　　）　　　　　　　　FAX：　　　　（　　　）　　 |
| 資本金 | 百万円 | 従業員数 | 全社 | 事業所 |
| 事　業　内　容 | 業種 |  |
| 工場、支店、出張所 |  |
| 関連企業 |  |
| 株主（主要株主、特殊数、比率） |  |
| 主要製品（商品等） |  |
| 業績 | 過去３年間 | 売上高 | 売上総利益 | 経常利益 | 当期純益 | 輸出額 |
| 　年　月期 |  |  |  |  |  |
| 　年　月期 |  |  |  |  |  |
| 　年　月期 |  |  |  |  |  |
| 企業沿革（設立、登記年月日等） |  |
| 組織 | 研究開発スタッフ |
|  |  |
| 製品開発事例 | 保有研究施設、機器 |
| ・件数が多く記載しきれない場合は、別紙を用いて記載ください。製品開発期間：事業名：補助機関名予算規模テーマ名：開発製品名：売上： |  |

６ 別紙　製品開発事例について

|  |
| --- |
| 製品開発事例① |
| 製品開発期間 |  |
| 事業名 |  |
| 補助機関名 |  |
| 予算規模 |  |
| テーマ名 |  |
| 開発製品名 |  |
| 売上 |  |

|  |
| --- |
| 製品開発事例② |
| 製品開発期間 |  |
| 事業名 |  |
| 補助機関名 |  |
| 予算規模 |  |
| テーマ名 |  |
| 開発製品名 |  |
| 売上 |  |

|  |
| --- |
| 製品開発事例③ |
| 製品開発期間 |  |
| 事業名 |  |
| 補助機関名 |  |
| 予算規模 |  |
| テーマ名 |  |
| 開発製品名 |  |
| 売上 |  |

誓約書

年　　月　　日

北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議会長　殿

*（申請者の住所）*

*（商号又は名称）*

*（代表者役職・氏名）*　　　　　　　　　　　　印

　CASE等関連技術開発支援補助金の交付申請に当たり、申請者及び申請者の全役員は下記のことを誓約します。

　この制約の内容と事実が反することが判明した場合は、当該事実に関して北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議（以下「推進会議」という。）が行う一切の措置に対して異議の申立てを行いません。

　また、CASE等関連技術開発支援補助金の交付決定後にこの誓約の内容と事実が反することが判明し、交付決定の全部又は一部が取り消された場合には、推進会議に対し、当該補助金の全部又は一部を返還します。

　なお、この誓約書の内容について、推進会議が福岡県警察本部に照会することを承諾します。

記

１　申請者は、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号。以下「法」という。）第２条第２号に規定する暴力団ではありません。

２　申請者は、法第２条第６号に規定する暴力団員が役員等になっている団体ではありません。

３　申請者は、暴力団員でなくなった日から５年を経過しない者が役員等になっている団体ではありません。

４　申請者及び申請者の役員等は、次に掲げる暴力団又は暴力団と密接な関係を有する団体ではありません。

（１）暴力団員が事業主又は役員に就任している団体

（２）暴力団員が実質的に運営している団体

（３）暴力団員であることを知りながら、その者を雇用し、又は使用している団体

（４）契約の相手方が暴力団員であることを知りながら、その者と商取引に係る契約を締結している団体

（５）暴力団又は暴力団員に対して経済上の利益又は便宜を供与している団体

（６）暴力団又は暴力団員と社会的に非難される関係を有している団体

５　申請者は実施する事業（事業の準備を含む。）により暴力団を利することとならないようにするとともに、推進会議や福岡県が実施する暴力団の排除に関する施策に協力します。

６　上記のほか、関係法令を遵守するとともに暴力団の排除を推進し、県民の安全で平穏な生活の確保及び福岡県における社会経済活動の健全な発展に寄与します。